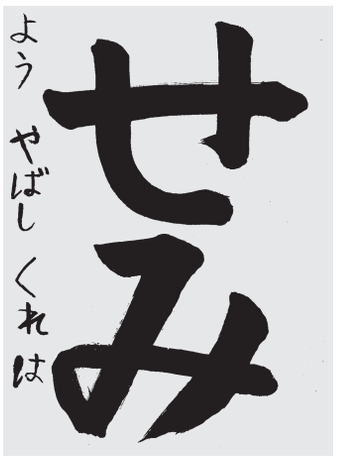


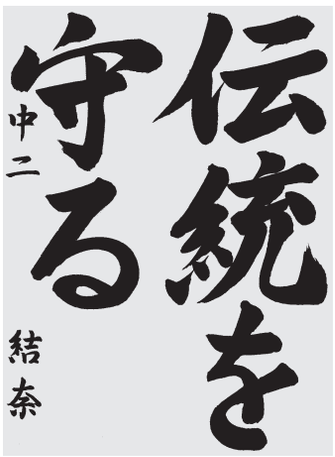
「せ」も「み」もむずかしいじなのに、じょうずにかけているね。ながいちょくせんや、きょくせんのかきかたもすばらしい。

矢橋くれは　幼年　7級



ゆるぎないたての直線が二文字の柱となっている。線の太細の変化を上手くつけた。左右のハライやオレの書き方も見事。

犬亦優莉　小4　準初



リズム良く書き進める中で線の正しい位置、長さ、角度等をよく考えているので、全体に躍動感と、安定感が混在している。

宮寺結奈　中2　5段



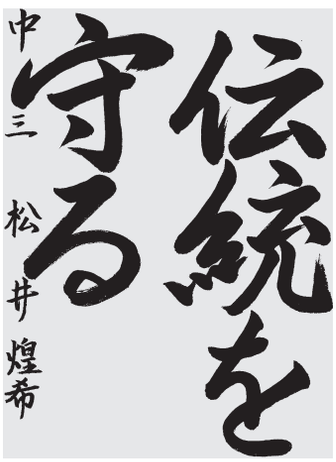
よくかんがえながらかいているので字のかたちがきれいだ。どのせんもはじまりをしっかりととめて、ていねいにかけた。

日下部　憬　小1　3級



構え良く、大きくうでを動かして書いたのびのびとした線が良い。線の太さや長さが正しいので文字の形が美しく整った。

高松優里子　小5　準2



滑らかに腕が動き、見事な筆遣いで確かな線を引いていく。大きく動いても字形と行が安定するのは長年の努力の賜物だ。

松井煌希　中3　6段



カタカナのとくちょうである直線をどれも強く書けた。ハネや四つある左ハライもさいごまで気もちをこめて書けている。

丹羽渚紗　小2　5級



線と線の間が整っているので字の中の白がきれいで字形が美しい。線の確かさが目を引く堂々としたバランスの良い作品。

岡部るり　小6　準2



名前もふくめて三年生でこの実力はすごい。直線、曲線、ハネ、ハライ等、全ての筆づかいが上手で、バランスも整った。

竹内真珠利　小3　2段



画の繋がりを大切にして書いている姿勢が伝わる。線の太さの変化が巧みで、特に太線の強さが字形に落ち着きを与える。

鈴木乙央　中1　4段

八月十五日締め切り
最優秀作品
金子高遠選評

